

海外自治体幹部交流協力セミナー2025（シンガポール事務所管内）

事業概要

1. テーマ

松阪市の観光施策とインバウンド誘客の取組について

2. 参加者数 10名

HUOT SYNEAD（ヒュート・シネド）
カンボジア労働職業訓練省 事務次官
PATHAK JAYANT NARAYAN（パタク・ジャヤント ナラヤン）
インド オールインド自治体協会 地域ディレクター
AFRIJAL DAHRIN DJ（アフリジャル ダリン ディージェイ）
インドネシア内務省人的資源開発庁 事務次官補佐
JUDDY DAMOND（ジャディ・ダモンド）
インドネシア内務省人的資源開発庁 シニア中級公務員人事評価官
XAYACHACK PONGPHONH（サヤチャク・ボンフォン）
ラオス中央組織人事委員会地方行政部 副総務部長
SYARIFAH NUR DIANA ABDUL RASHID（シャリファ ヌール ダイアナ・アブドゥル ラシッド）
マレーシア住宅地方自治省 地方自治局 監査課 課長補佐
DAPHNE PURNELL（ダフネ・パーネル）
フィリピン地方行政学院 副事務局長
NAMMEDIRIGE WASANTHA ARIYARATHNE（ナムメディリゲ・ワサンタ アリヤラティン）
スリランカ行政・州議会・地方自治体省 副事務次官（行政・研修担当）
PRASIT THONGTHAENGTHAI（プラシット・トンテンタイ）
タイ コーンケン市 市長
NGUYEN DUC TRUNG（グエン・ドゥック チュン）
ベトナム内務省地方自治局 専門家

3. 日程（2026年2月1日（日）～7日（土））

月日	予定	宿泊地
2/1（日）	来日、オリエンテーション	東京都
2/2（月）	地方自治講義、視察、クエア主催歓迎夕食会	
2/3（火）	受入自治地体（松阪市）へ移動 地方交流事業 三重県松阪市概況説明・観光誘致に関する取り組み	松阪市
2/4（水）	地方交流事業 視察、表敬訪問、松阪市歓迎レセプション	
2/5（木）	地方交流事業 視察、意見交換会	
2/6（金）	東京へ移動、自由行動	東京都
2/7（土）	帰国	

東京セミナー：2月2日（月）

(1) 日本の地方自治体に関する講義（明治大学教授 木村俊介）

松阪市訪問前に、参加者の日本の地方自治に関する理解促進を図るため、明治大学大学院グローバル・ガバナンス研究科の木村俊介教授による講義を実施した。地方自治体の基本構造や役割について説明いただき、日本の地方自治体を取り巻く現状について理解を深めた。



(2) 観光庁

観光庁国際観光部国際観光課アジア市場推進室の山川剛志室長より、日本の観光の現状および今後の計画に加え、東南アジア市場を主なターゲットとした施策、ハラルやベジタリアン対応を含む受入環境整備について、幅広い内容の説明が行われた。意見交換では、新型コロナウイルス感染症からの回復要因、オーバーツーリズムへの対応、各国から見た日本の観光の印象等について活発な議論が行われ、参加者にとって日本の観光施策について知見を得る有意義な機会となった。



(3) 増上寺

増上寺を訪問し、東京タワーを背景とした景観を通じて、日本における「伝統と先端」の共存について学んだ。参加者は境内を散策しながら、仏教や宗教、歴史に関する説明を受けた。東京タワー周辺まで足を延ばし、東京を代表する観光資源を間近で見ることができた。



(4) CLAIR 歓迎夕食会

当協会が歓迎夕食会を主催し、参加者10名のほか、当協会から常務理事、CLAIR シンガポール事務所赴任予定者等が参加した。参加者の関心事項や、所属自治体の取組等について話を伺うとともに、CLAIR 側の参加者からも派遣元自治体の紹介をするなど、情報交換を行い、互いに親睦を深める良い機会となった。



松阪市セミナー：2月3日（火）～2月6日（金）

(1) 松阪市の紹介と松阪牛の紹介

松阪市到着後、新設された公民館に移動し、松阪市職員より市の概要紹介が行われた。説明では、松阪市の基礎的な数値に加え、商業の町として発展してきた歴史や文化イベント、観光資源等について紹介が行われた。

また、特産品である「松阪牛」について、認定に必要な厳格な基準や飼育方法、牛個体識別管理システム等に関する説明を受けた。ブランドを支える取組や品質管理の背景について参加者から高い関心が寄せられ、松阪牛の価値について理解を深める機会となった。



(2) 観光施策とインバウンド誘致に関する講義

松阪市における観光施策およびインバウンド誘致の取組について講義を受けた。国内観光客に加え、外国人観光客への情報発信を強化するため、インフルエンサーの活用、ウェブサイトのリニューアル、観光関連施設の整備等の取組について説明が行われた。併せて、松阪市が抱える課題についても言及があった。



(3) 松阪もめん手織りセンター

松阪もめん手織りセンターでは、松阪もめんの歴史に関する講義および木綿農家による糸紡ぎ体験を実施した。伝統工芸としての松阪もめんの成り立ちや、継承・PRに向けた取組について直接説明を受け、参加者は熱心に耳を傾けていた。また、体験を通じて地域の担い手との交流が図られ、伝統工芸を観光資源として活用する意義について考える貴重な機会となった。



(4) 旧長谷川治郎兵衛家視察

松阪もめんの着物を着用し、旧長谷川治郎兵衛家を視察した。館内では、畳の上で抹茶を味わいながら、長谷川家の歴史や当時の商人文化、日本の伝統的な住居構造について説明を受けた。建築の特徴や庭園の構成にも触れ、日本文化の一端を多角的に学ぶとともに、各国の住文化との共通点や相違点について意見交換をする機会となった。



(5) 松坂城跡・御城番屋敷視察

松阪もめんの着物を着用したまま市内を徒歩で移動し、1588年に築城された松坂城跡および御城番屋敷を視察した。松坂城跡では、松阪市の国際交流員より城の歴史や城跡の特徴、また現在の活用方法やイベント開催の取組について説明を受けた。特に、城跡から見下ろす御城番屋敷の景観は印象的であり、歴史的資源を活かしたまちづくりについて理解を深める機会となった。その後、御城番屋敷を訪問し、当時の武士の生活様式や建物の構造について説明を受け、日本の歴史・文化への理解を深めた。

(6) 松阪市長表敬訪問

松阪市役所にて、松阪市長への表敬訪問を行った。市長からは歓迎の挨拶をいただくとともに、松阪市の課題とビジョンについて説明を受けた。参加者からは、自国のインバウンド誘致に関する重要点やこれまでの視察を踏まえた意見が述べられた。



(7) 歓迎夕食会

松阪市主催による歓迎夕食会が開催され、ローカル材料を使用した食事を食べながら、参加者と市職員が一堂に会して交流を深めた。



(8) 深緑茶房

松阪市の特産品である松阪茶について理解を深めるため、茶畑の視察および深緑茶房での体験を実施した。

現地では、日本茶の生産状況や直面している課題について説明を受けるとともに、参加者は茶畑の様子や栽培方法に強い関心を示していた。その後、実際に松阪茶を淹れる体験を行い、湯温や抽出方法の違いによる味の変化を体感した。本体験を通じて、日本の茶文化や地域資源としての価値について理解を深める機会となった。



(9) 道の駅「飯高駅」

「温泉がある道の駅」として、道の駅飯高駅を視察した。道の駅という施設の役割について情報を得ながら、近くのハイキングコースや、エリアの今後の計画について説明が行われた。



(10) 意見交換会

これまでの視察および講義内容を踏まえ、セミナー全体を通じた意見交換会を実施した。参加者からは、松阪市で特に印象に残った体験や改善点、外国人観光客誘致に向けた具体的な提案について、各国の視点から意見が述べられた。特に、松阪市の観光資源のポテンシャルを高く評価する声が多く聞かれる一方、情報発信の工夫、多言語対応、ハラル対応の重要性、地域住民との交流機会の創出等が課題として共有された。今後の観光振興に向けた示唆を得る有意義な機会となった。



(11) 帰国前夕食会

帰国前最後の行程として、松阪市の特産品を囲んだ夕食会が開催された。夕食会では、セミナー期間中に伝えきれなかった感想や意見について自由な意見交換が行われ、各国の参加者と松阪市職員との交流が一層深まった。